

Tokiwa Communication Arcade



豊橋で唯一の全蓋式アーケード通り。
昔から愛され続ける店や
若いオーナーの新しいエネルギーが
あふれるお店。
いつまでも変わらない景色と
新しい空気が



アーケードの下でひとつになり、
この通りの魅力をつくり出している。
ひとつの宝箱のように。



まちなかモノ語りマップとは
架空の主人公がまちなかを
巡り、その魅力をストーリー
仕立てで紹介するものです。

3
あの時に戻れる時間

お店を出ると待ち合わせの喫茶店へ向かった。
ここは学生時代に度々友達と来た店。たまにしか
会えないけど、懐かしい場所で会うと瞬で学生気
分に戻れちゃう。昔からこの店はお客さんのイメー
ジに合わせてカップを用意してくれる。私たち、少
しは大人っぽくなったかな？と、ちょっとは期待
したけど二人とも当時と同じようなイメージの
カップが出てきた。お互いにあんまり成長してい
ねと、学生の頃と同じ笑い声を上げた。



2
こんなにお店が
増えている

久しぶりに歩くアーケードの中
は、チョコレート屋さんやおしゃれ
なダイニングバー、パーティースベ
スなど新しく出来たお店がある一
方、リニューアルしながらもずっと続
いているお店など、いろんなお店が立
ち並んでいた。おしゃれて新しいお店
がこんなに増えてるんだと、興味
深げにキョキョキしていると、「何かお
探し？」と突然声をかけられた。
「あつ...久しぶりなんです。この通り
を歩くの...」そこはミセス向けのファッ
ションブティックで、声の主はこの店の
オーナー。お店の中は母親くらいの
年齢のお客さんたちでいっぱい。しか
も、いわゆる店員さんとお客さんつ
ていうよりは、午後のお茶会つて雰
囲気で、みんなでワイワイと盛り
上がっていた。「よく来られるん
ですか？」と聞くと、「ここは駅から
近いし、居心地もいいしね」とお
客さん。「夜は若い人たちが多
くなるんだけど、昼間は私たち



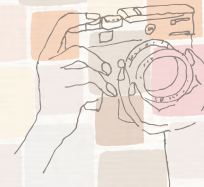
の時間ね」と言っ、またみんな
の笑い声が広がった。愛され
続けるお店ってこんな感じなのか
な...夜の通りの華やかな派手さ
はないけど、アットホームで温かな
お店とお客さんのふれあいを感じら
れた。



寄り道したくなる
ときわ通り



ときわアーケードにある馴染みのお店で
久しぶりに友達と待ち合わせ。
最近あまり来てなかったけど、
たくさんお店が増えて
いろいろ話題になってるらしい...



4
賑やかな夜

「新しいお店が増えたね」とりあえ
ず軽く飲みながら、「そうだね、まず
は軽くな...」気軽な感じで立ち飲
み風のお店へ。ここは若いお客さんが
中心で女子も多い。立ち飲みは初め
てだけど、居心地いい料理も美味
しくて結局2、3杯...
お店を出ると、2軒目を探しなが
ら、ほろ酔い気分で行った。通り
来たりした「座って飲めるところ
がないかな...」お店を選びながらも、
「このライブハウス、学生のときに来
たよね...」「あの新しいお洒落な
チョコレート屋さん知ってた?」
懐かしさと好奇心からか、話があ
どん広がつちやう。
結局、アンティークっぽい雰囲気
が素敵なお店に決めた。まだ遅い
時間なのにはぼ満席!このお店
のお客さんは年齢層が幅広く、カウ
ンターには二人で飲んでいる若い女
性もいる。店員さんにおすすめの料
理とワインを相談していると、突然
隣の席で歓声が上がった。驚いて
いる私たちをよそに隣の席には特製



のデコレーションケーキが運ばれ、
お店の全体が自然とお祝いの
雰囲気になった。「うちのお店で
はこんな感じでパーティーも開か
れるんですよ。」
店員さんによると、他のお店でも、
結婚式の二次会をやったり、何
店舗か共同のハロウィンイベント等
で盛り上がりつつあるらしい。「アー
ケードがあるから雨でも気にせず
遊べるんですよ」運ばれて来た料
理とワインを味わいながら、隣の
席の幸せを少しおすそ分けしても
らい、懐かしい友人との久しぶりの
再会を存分に楽しんだ。

5

お店を出る頃にはアーケー
ドの照明はすっかり消えて、
お店の灯りで昼間とは違っ
た顔を見せていた。
それぞれの時間を過ごしなが
ら行き交う人々たち。まだ
まだ新しい発見がありそう
なアーケードの魅力に、ワクワク
している私たち。
「次は何しに来ようかな...」



1
ここから
アーケードへ

く。老舗ケーキ店の大きなガラス越し
に、ディスプレイされた美味しそうな色
とりどりのケーキ。モダンなデザインの
喫茶店に展示されているアート作品
と、二人静かに読書をする男性客。昔か
ら変わらないお店があり、思わずホッ
と心が安らいだ。



